

中国のキャンプブームとG505復活

JSC 貿易部ニュース

新緑の季節となりました。清々しい日がつづいております。
こんな時は山や湖畔でキャンプでもしたいところですね～

さて、当社のFacebook【中国検品員ニュース】にも投稿がありましたが、いよいよ中国にキャンプブーム到来のようです。当社の検品員も休日に湖畔でキャンプを楽しんだそうです。

新型コロナ以降は、長距離移動に制限があったので週末に近場でキャンプというのが人気のパターンようです。

中国のニュース記事によると中国国家体育总局、国家发展改革委员会、住宅と都市農村建設部等合計八つの政府部門が共同で「アウトドアスポーツ産業開発計画（2022-2025年）」を発表したそうです。



目標では、2025年までにアウトドアスポーツキャンプ場1万箇所建設するとのこと。1万箇所という数もすごいです。政府主導となると地方政府の新たな開発ネタになりそうな予感も…

政府計画はさておき、きれいな夜空の写真は福建省のお隣の浙江省・温州市のキャンプ場です。

山や湖も多く、まだまだ自然豊かな場所が数多くある中国。近い将来、丁場に行く途中にテントを張ってキャンプを楽しむ人々に出会う日が来るかもですね！



さて、今月の石のお話です。

今月ご案内する石は低価格帯のリバイバル石種です。

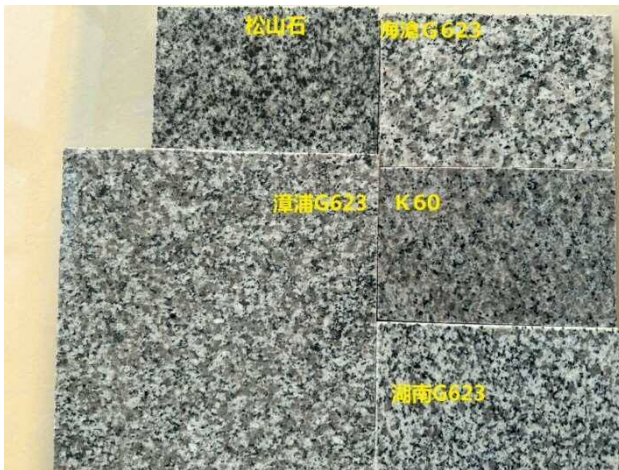
「以前使っていたよ！」という方もいらっしゃるかと思います。

福建省莆田産「G 5 0 5」(G650) という石種です。



「K 6 0」という名称で呼ぶ工場もあります。

他の低価格帯の石種と色を比較してみました。薄紫とグレーが入り混じった色合いです。



採掘停止となっていましたでしたが、昨年土地の造成中に再び石が出てきたようです。

一時的である可能性もありますが、現在はレールを敷いて大量に採掘中です。



当社の取引工場も豊富に在庫を持っています。中には数百㎡の在庫を持っている工場もあるので供給に不安はございません。

石の特徴ですが、若干の黒玉は出ます。
吸水率は0.254%、湖南623（0.27%）と同程度です。



そのほか、縦目横目が多少あります。



長尺は9尺くらいまで、角周りも4尺角くらいは取れますので、外柵で長尺物を必要とされる石材店様や丘カロートの天板に角周りの大きな石を必要とされる地域でもお取扱いが可能かと存じます。

是非、ご検討下さい。

それでは、今月号も最後までお読みいただきありがとうございました。
季節の変わり目でございます。くれぐれもご自愛くださいませ。